あなたの調査票には日本の大切な未来がつまっています。

10月1日は国勢調査。

子どもから高齢者まで
みんなが住み良よいまちづくりのために、
皆さんの状況を、
調査票に記入してください。

国勢調査でわかる、日本の姿
国勢調査からは、人口や世帯に関してさまざまな結果が得られます。それを過去の結果とあわせて見ることで我が国の人口の推移などを知ることができます。

例えば2000年国勢調査では、子どもの割合が減り、高齢者の割合が増えるという人口の「小子・高齢化が一層進んできていること、単独世帯や夫婦のみの世帯が増えていること、働く女性の割合が上昇していることなど、さまざまなことが明らかになりました。
一人一人の調査票で、日本全体の姿がわかってきます。

2005 国勢調査
平成17年10月1日
9月上旬から調査員がおうかがいいたします。

※問い合わせ先　企画財政課企画調整係　☎82－8820

総務省統計局

文芸

俳句

横芝俳句栗江会

したたりの音のリズムにねむけ呼び
冷麦ののどの通りに手抜き昼　長谷川正子

冷麦にてんぷら添へし夕の膳
トンネルの霧除け灯やしたたりし　今関満喜子

冷麦を茹でて待ち佗ぶ娘の帰郷
過ぎ去りし母を偲びて冷麦を　福田　幸子

夏祭りお白粉はげた顔ばかり
盆の墓留守番の佛に花上げて　若梅あやめ

滴りに会ひし歓声児等の列
祭囃子遠くに聞きて弾みけり　選者　藤代　ゆう

ひこばえ俳句会（互選句）

検診に不安も少し夏木立　浅野　茂子

雨音の烈しくなりし山開き　池田　逸子

鈴生りに玉葱吊す納屋廂　伊藤　敬子

沼揺らし古代の蓮に生まる風　川島　孝夫

蒲の穂の茶髪のように揺れにけり　向後　寛

箸置きの鮎の姿や山の宿　佐瀬　輝夫

単線の土手を彩る立葵　宍倉　道子

子蟷螂触るれば小さき斧かかぐ　布施　和代

梅漬ける桶をさがして小半日　若梅あやめ

くさむらに綺麗に着替えし蛇の衣　渡部　和秋

短歌

病院の天井板の文様に
心やすらぎ順を待ちゐつ　池田　春江

朝起きて独りの飯を食まむとし
漬け物をまず卓に置きたり　永藤　滋

靖国の社に祀られし友偲び
九段の桜の詩を吟じたり　萩原　信一

隣家の塗り変へられし塀の上に
ベコニアの鉢今日は置かれつ　八角　三枝

一歳の曾孫抱きてふらつきぬ
広がりゆかむその差を想ふ　吉岡　信子

地底より突き上げるがに湧く水は
石の間よりたばしり出づる　佐瀬　初音

待合室にエレクトーンを弾く女のゐて
座席のあひを曲の流るる　田崎　尚美

今宵なす薪能の舞台組みてゐつ
金沢城の広場に人は　秋葉　悦子

さ夜更けて強くなり来し雨音に
明日遠足の幼思へり　芹川　初子

蛍光の染料に描かれしTシャツか
車のライトに光を放つ　押尾　輝子

美しき花咲くさまに夜の街は
街灯ひそと輝きゐたり　長谷川正子

針穴に糸通らぬをなげく友
思ひつつ裾をまつりてゐたり　西山満里子

二日後に台風襲ふの情報に
茄子の支柱を確となしゆく　鈴木　やす

高原に咲く花白しその間を
飛びゆく蝶のこれまた白し　上総　晴子

賜ひたる薔薇を吊り置く部屋のうち
乾きゆく香のはつかこもれり　選者　斎藤つね子